

令和元年 9月13日

鳥羽市議会会議

質疑通告者一覧表

発言通告者	議席番号	10番	氏名	戸上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 議案第27号 令和元年度鳥羽市一般会計補正予算（第7号）について</p> <p>中央共同調理場調理業務について限度額1億3,620万円の債務負担行為補正を提案した。詳細及び市長の政治判断を問う。</p> <p><市長、教育長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	戸上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 認定第1号 平成30年度鳥羽市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について</p> <p>平成30年度決算は中村市政初の通年本格予算であった。そこで以下の諸点について市長の見解をきく。</p> <p>①平成30年度当初予算について市長は「未来への芽吹き予算」と命名した。また「この予算を執行することにより市民力が向上し、市民に活躍の場があり、その暮らしに幸福感が持てるようなまちづくりに邁進してまいります」と表明した。そうなったのか大要と特徴点を示されたい。</p> <p>②市長は、平成30年度予算に関わる施政方針で第5次総合計画後期基本計画の中間年度として指標の達成をめざすとした。また「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取り組みについても関連予算の最大限活用を表明した。どのように功を奏したのか。どのように自己採点、自己分析しているか。</p> <p>③当初予算書では市長が重点とした「海女文化」「とばびと」「幸福実感向上プロジェクト」に大枠で括り、それぞれ予算額が別記された。市長として特段の決意が示したものだが決算報告には特記されていない。なぜか。重点政策3本柱の予算執行結果を説明されたい。</p> <p>④市長は予算編成基本方針で「議会の予算決算常任委員会の提言を踏まえる」としたが、どこをどのように踏まえたのか説明されたい。</p> <p>⑤決算書によれば、国保会計は1億376万円の黒字、介護保険会計は8,915万円の黒字となった。国保は加入一世帯当たり3万円、介護保険は高齢者1人当たり1万3,000円のそれぞれ黒字である。納税者市民からすれば「取り過ぎ感」が否めない。市民に対する市長としての所見を披瀝されたい。</p> <p><市長></p>			